

北海道建築士会青年委員会事業報告書

報告件名	第2回 青年委員会
報告者	針ヶ谷拓己
開催日時	平成24年2月25日 14:00～17:00
開催場所	事務局会議室（札幌市中央区大通西5丁目 大五ビル6階）
出席者	針ヶ谷、前田、斎藤、鳩澤、森、南雲、山田、土田、工藤、松本、北野、伊井、吉木常務、浦上、（小町）

報 告 内 容

■協議事項

1. 全道青年委員会連絡会議について（針ヶ谷）【14：00～14：30】

- 担当 ◎針ヶ谷、前田、南雲、松本
- 日時 平成24年3月24日（土）14：00受付（懇親会は19：00から※青年委員集合13時
- 場所 札幌市民ホール（懇親会：札幌テレビ塔）
- 内容 ①挨拶②青年委員紹介③平成23年度事業及び決算報告④平成24年度事業計画及び予算案説明⑤研修会⑥総評
- 研修会 本部青年委員会、ブロック協議会、各支部青年委員会がそれぞれ新組織となっている。各支部から集まる新委員長や委員長候補のために、第1部では、委員会や会社などの組織をさらに大きな成果を上げる「チーム」につくりあげるためのセミナーを行う。
第2部では、全道各地の地域実践活動状況やこれからの活動について、ワークショップを行う
 - ①「チームビルディングセミナー」
～グループからチームへ変える秘訣がここにある！！～ 講師：塚田康祐氏
 - ②青年建築士活動についてのワークショップ
ファシリテーター：塚田康祐氏
- 役割分担 企画責任者（針ヶ谷）、総合司会（松本）、受付（斎藤・前田）、会計（浦上）
懇親会企画（南雲）、懇親会司会（鳩澤）、撮影係（工藤）
座席レイアウト・参加者名簿作成（前田）、アンケート作成（針ヶ谷）
横断幕及び事業方針（針ヶ谷）、入口看板及び前垂れ（浦上）
- 準備品 プロジェクター及びパソコン（本部）、マジック（本部）、模造紙、講師用の水（ペットボトル）、
- 会場備品 マイク（3本）、スクリーン、持込み機器の電気代
- スケジュール
 - ・各支部活動報告書及び自己PRシートの宿題依頼済み（1/30）（針ヶ谷）
 - ・講師初回打合せ済み（1/27）、詳細打合せは（2/下旬）→講師依頼書作成（浦上）
 - ・各支部活動の取りまとめ（3/月上旬）（各ブロック長）
 - ・CPD申請済み（2/20）（針ヶ谷）
 - ・案内送付（2/29）（針ヶ谷）
 - ・司会進行スケジュール作成（3/2）（松本）
 - ・座席レイアウト作成（3/2）（前田）

2. 青年建築士の集いについて（斎藤）【14：30～15：00】

- 担当 ◎斎藤、土田、鳩澤、北野
- 日時 平成24年5月19日（土）
- 場所 旭川ターミナルホテル
- 内容 旭川駅及び駅前再開発についてのワークショップの後、ブロック玩具により実際に、駅前まちづくりを行う。尚、ブロック玩具によるまちづくりは旭川支部で行われている地域実践活動。3年前の未来予想図がもととなって、昨年11月に子どもたちを対象に行われた。
- 参加者 青年建築士100名規模
- スケジュール

- ・CPD申請（4/中旬）
- ・案内送付（4/中旬）
- ・3月中旬までに企画を固める

3. 全道大会について【15：00～15：40】

(1) 青年サミット（工藤）

- 担当 ◎森、鳩澤、工藤、斎藤
- 日時 平成24年8月24日（金）
- 場所 函館市
- テーマ 「Road to Rebirth ー歴史的町並みの今を歩くー」
- テーマコメント

異国情緒あふれる街、函館。

かつてその中心として栄えた西部地区は、歴史的建造物が数多く建ち並び、北海道の玄関口として栄えた当時の面影を色濃く残しています。それらの建造物の多くは修繕や改築を繰り返しながら現存しつつ、観光場所として、また地域住民の憩いの場として今なお愛され親しまれています。

Road to Rebirth ー歴史的町並みの今を歩くー

その西部地区を自らの足で散策し、今なお現存する建物を見て、それらに関わる人たちの声を聞き、その歴史の重みを感じていただき、その経験を、過去から未来へ脈々とつながる道の「今」という地点に立つ我々青年建築士が、未来にどのように生かすことが出来るのかを皆で語り合う、そのような青年サミットにしたいと思います

- 内容 20min 挨拶
- 40min 函館市の今（函館市の取り組み等）を紹介
- 15min 函館まち歩き 内容説明
- 130min 函館まち歩き
- 35min 振り返り・総評
- スケジュール
 - ・北海道建築士掲載のための主旨文及びプログラム（2/29）
 - ・実行計画書及び実行予算書作成（3/31）

(2) 分科会（前田）

- 担当 ◎前田、南雲、山田、伊井
- 日時 平成24年8月25日（土）
- 場所 函館市
- テーマ 観光都市における建築士の役割「Draw the Future ー歴史的町並みの未来を描くー」
- テーマコメント

北海道有数の歴史的町並みのある観光都市、函館。

函館には歴史的建物の積極的な活用が現在進行形で進められており、それは古き良きものを残していきたいという強いニーズがあります。全道各地でも歴史的建物の積極的な活用は進められていますが、その地域に根ざした建築士たちは、歴史的建物の活用方法に試行錯誤されているのではないのでしょうか。

本分科会では、函館で進められている歴史的建物の活用方法を学んだ上で、全道各地から集まる建築士たちのスキル・視点により、歴史的建物のリノベーション提案を行い、歴史的町並みの未来を思い描くとともに、地域における建築士としての役割（地域貢献）を考えていきます。

- 内容 15min 事前説明
- 60min リノベーション提案（ワークショップ）
- 45min 発表・総評
- スケジュール
 - ・実行計画書及び実行予算書作成（3/31）

4. HP及びMLの運営方法について（針ヶ谷）【15：50～16：05】

○HP担当 ◎事務局

○HPの掲載内容

①委員長あいさつ②活動カレンダー③本部青年の事業報告&委員会報告&ブロック協議会報告④各ブロック、各支部の活動報告シート及び自己PRシート

※全道青年建築士の建築作品を掲載するといった意見もありましたが、データ量が多くなりそうなので、現段階では却下

○MLについて

①委員会案内への出欠返信の際は出欠○×を記入すること

②業務に役立つ情報発信については、各ブロックのMLへもアップしてほしい（全道青年委員に情報が行き渡るように）

5. その他【16：05～17：00】

(1) 建築士の日イベント（針ヶ谷）

○担当 ◎針ヶ谷、前田、斎藤、松本

○日時 平成24年7月1日（日）

○場所 札幌駅前通地下歩行空間

○内容 各支部活動パネルの展示と

ブロック玩具、折り紙建築、ゴミサークル製作実演などのイベント

建築士の日1週間前又は2日前より建築士会の各支部活動パネルを展示（一般市民にも投票）

※展示期間についてはまち会社と協議により決定する。ガードマン配置など費用が嵩むようであれば、展示期間を短縮する

※建設新聞などへダイレクトメールにてアピールする

○スケジュール

・まち会社へ打合せ済み（1/24）→別紙議事録参照

・まち会社へ会場使用予約の申請済み（2/6）

・イベント内容、開催期間の打合せ（2/下旬）

(2) ブロック協議会について（針ヶ谷）

○事業計画書及び予算書の提出要請し、提出期限を2/29とする

○メンバーカルテについて

道央ブロックで行われているメンバーカルテを簡素化したものを配付。各ブロック長から各支部委員長へフォーマットを配信

(3) 連合会青年委員会からの連絡事項（小町）

①いばらき大会の案内

・北海道ブロックから活動パネルを1件提出する。場合によってはワークショップのテーブルマスターを要請するが連合会からの交通費はなし

・上記活動パネルは、建築士の日投票等で選出する予定であるが、昨年全国大会に行けなかった札幌の活動や、折り紙建築、ブロック玩具によるまちづくりなど候補が多いので、北海道からは2件程度提出するよう、2/29の連合会青年委員会で提案する

②北海道ブロックの行事カレンダー・活動報告・委員長PRシートは2/24提出済み（針ヶ谷）

(4) 「北海道建築士」の原稿について（針ヶ谷）

①委員会報告1/3ページ（針ヶ谷）

※次回連絡会議の報告の際、「青年建築士の集い」のPRを含める